

1 題材名 「美しい構成と装飾 ～私の部屋を〇〇にする絵～」

2 題材の目標

- 身近なものの形や色彩の特徴をとらえて美しく構成することに関心を持ち、主体的に創意工夫して表したり表現の工夫などを感じ取ったりしようとする。(美術への関心・意欲・態度)
- 目的や条件などを基に、形や色彩の効果を生かして構成や装飾を考え、構想を練ることができる。  
(発想・構想の能力)
- 表したいイメージをもちながら意図に応じて描画材料の特徴を生かし、着彩の順序などを考え創意工夫して表すことができる。(創造的な技能)
- 構成や装飾の目的と形や色彩などの美しさの調和、見る人に対する作者の心づかい、生活の中のデザインの働きなどを感じ取り、自分の思いや考えをもって味わうことができる。(鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は、中学校学習指導要領解説美術編（平成29年7月）第1学年の内容A表現(1)イ（ア）「構成や装飾の目的や条件などを基に、対象の特徴や用いる場面などから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた美しさなどを考え、表現の構想を練ること。」に対応したものである。自然物を見つめてみると定規で引いたような直線ではなく、やわらかな曲線で形づくられている。一方、人工物も、自然の形や色から着想を得ているものも数多く見受けられる。また、人工物は、その機能性を考慮して洗練された美しさを兼ねそろえているものも多い。これらの特徴をとらえ、美しく構成することに関心を持ち、目的や条件をもとに様々に発想し、生活を豊かにする造形や美術の働きを実感することができる題材である。

(2) 生徒の実態

本学級の生徒は、美術の授業に好意的で、デッサンや色彩の学習に熱心に取り組んできた。意識調査によると、絵を描くことに対して苦手意識をもつ生徒が多く、アイデアをうまく形にすることができなかつたりバランスや配置で失敗したりしたことから、表現することへ抵抗がある生徒が多いことが分かった。また、作品をつくる前にイメージが浮かばないことがあると回答した生徒が半数近くいるという実態から、発想するための手立てが不十分であったことも考えられる。

(3) 指導観

今回の題材では、アイデアを考えるのにICTを活用する。それにより何度でもやり直しができ、自由な形の変形、配置換え、色彩変更が可能であり、生徒がアイデアを発想しやすくなると考えた。また、ICTを活用して下描きを行い、その下描きをケント紙に印刷することによって時間短縮ができ、その分色塗りに時間をかけることができる。

4 指導と評価の計画（11時間扱い）

次	時	学 習 活 動	評価の観点				評 価 の 規 準 (方法)
			関	発	技	鑑	
1	1	デザイン用具の使い方を理解し、グラデーションを行う。	○		○		デザイン用具の使い方を理解し、基礎的な技能を身に付けている。(作品・観察)

2	1	果物を様々な角度から見てスケッチする。(写真撮影する)		○			自然物の持つ形に関心をもち、スケッチ(写真撮影)を行っている。(観察・写真記録)
3	2 (本時)	PCに取り込んだスケッチ(写真)を基に、植物を単純化しデザインをする。	○		○		写真の上からデザインのための線を描き、余分な線を省略するなどして形をデフォルメしている。(観察・PC)
4	2	ICTを使いデザインを並べるなどしてアイデアスケッチをする。	○		○		目的や条件などを基に、形の効果を生かして構成し、構想を練っている。(観察・PC)
5	1	アイデアスケッチしたものを基に、配色計画を立てる。	○	○			試行錯誤しつつ発想や構想を見直したり修正をしたりして創意工夫している。(観察・PC)
6	3	着色をする。	○		○		表したいイメージをもちながら意図に応じて着色の順序などを考え、創意工夫して表現している。(観察・作品)
7	1	鑑賞する。				○	自分の作品で工夫できたところや、他人の作品のよさに気が付き、認め合っている。(観察・ワークシート)

## 5 本時の指導

### (1) 目標

写真の上からデザインのための線を描き、余分な線を省略するなどして形をデフォルメすることができる。

### (2) 準備・資料

PC・電子黒板(スクリーン)

### (3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点 ◎評価(評価方法)
<p>1 本時の学習課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>写真に撮ったモチーフを、簡単な形にデザインしよう！</p> </div> <p>2 PCでの形の抽出の仕方や操作の手順を確認する。 〈デザインのコツ〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○デッサン(鉛筆)のようにたくさんの線を描かない。→デザインはスマートにシンプルに</li> <li>○ものの輪郭線をとらえる。</li> <li>○まずは直線と曲線だけで描いてみる。 →慣れてきたら他のツールも試してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時にすでに撮影した自然物の写真を確認し、この写真をもとにデザインを行うことを説明する。</li> <li>・PCによる線での形の取り出し方の注意点を説明する。</li> <li>・手順はPCを実際に使って説明すると同時にスクリーンに映し出すことによって、どのように行うのかを視覚的に理解できるようにする。</li> <li>・配置や配色を進めていく際に、この制作でつくったものが多ければ多いほどアイデアが広がることを伝え、制作意欲を高めていく。</li> <li>・操作に戸惑っている生徒には、教師がそばに行き生徒の画面を操作しながら、再度操作方法を確認できるようにする。</li> </ul>

<p>3 全員で練習する。  (1) リンゴを簡単な形にデザインする。</p> <p>4 自分で撮った写真の中からデザインに  使えそうな写真をいくつか選択し、制作  する。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p> <p>6 片付けをして、本時の活動の自己評価  をし、次時の学習活動の確認をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインができた生徒の作品をスクリーンに映し  出すことで、まだデザインができていない生徒の  アイデアの手助けとなるようにする。</li> <li>・写真の選択で迷い手が止まっている生徒や、選択  しすぎて作業に取りかかれない生徒がいた際  には、形を簡単に取り出しやすそうな写真をアドバ  イスし、スムーズに制作に取り掛かることができ  るようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◎評価〈発想や構想の能力〉  写真の上からデザインのための線を描き、余分  な線を省略するなどして形をデフォルメしてい  る。(PC画面・観察)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザインを考えるのが終わってしまった生徒に  は、別のアングルから撮った写真や別のモチーフ  の写真をもう一度見直すことで新たな形に気付  けるようにし、制作を促す。</li> <li>・自分や友人の作品で工夫している点やよさを感じ、  次時の学習の手がかりとする。</li> </ul>
---	--